


事例紹介

医療ネットワーク岡山

晴れやかネット

 <http://hareyakanet.jp/>

システムの概要

システムの実施目的・地域など

参加団体数と参加患者数

参加の同意方法について

患者さんの同意取得の詳細

サービスについて

共有できる情報項目

共有情報の取得元

システムについて

通信ネットワーク

ログインセキュリティ

主なIT企業

サービス利用・参加料金

蓄積された個人情報の利用

予算について

費用の負担について

システムの概要

システム名	医療ネットワーク岡山
代表団体	一般社団法人医療ネットワーク岡山協議会
運用開始状況	導入済み：2013年
稼働状況	サービス運用中
運用終了年	
提供地域	岡山
自治体の参加状況	運営主体として参画中
事務局運営人数	専任3人

システムの実施目的・地域など

システムの導入目的	救急医療対策、医療連携、在宅医療対策、医師・看護師等の確保対策
地域の課題	医師の偏在などにより、各地域の医療提供体制に格差が生じていることから、県内の医療資源を有効に活用するためには、医療機関の役割分担と連携の促進を図り、患者にとって質の高い医療を効率的に提供する必要がある。

システム導入効果 凡例：(○) 効果あり、 (△) どちらとも言えない、(×) 効果なし	(○) 患者サービスが向上した (△) 患者の負担が軽減した (△) 医療機関間で機能分化が進んだ (△) 医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ (△) 医療機関間の人的ネットワークが進んだ (△) 医師の偏在を補う効果があった (△) 患者紹介の円滑化が進んだ (△) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった (△) 診療所の支援が受けられるようになった (△) 業務全体の負担軽減 (△) 医師の負担軽減 (△) 看護師の負担軽減 (△) 事務職員の負担軽減 (△) 技術職員の負担軽減 (○) 従事者間の情報共有が向上した (△) 従事者間の連携が向上した
システムの課題	従来の業務のやり方に較べ手間がかかる、関係者のITリテラシーの問題がありあまり活用できない、その他
工夫した点	(工夫) ・きめ細かな運用講習会の開催・マスメディアを活用した広報活動(苦勞) ・患者の同意書取得
対象地域	複数県にまたがる連携

参加団体数と参加患者数

参加団体と参加患者数	【病院】 実施中：118施設 【医科診療所】 実施中：188施設 【歯科診療所】 実施中：1施設 【薬局】 実施中：114施設 【介護施設】 実施中：5施設 【その他】
利用施設数の割合	
登録患者数状況	実績数
登録患者数	12548
情報共有している患者状況	実績数
共有患者数	12548

参加の同意方法について

医療機関等	医療機関地域全体で参加 医療機関施設毎の参加判断
介護施設・その他	介護施設地域全体で参加 介護施設施設毎の参加判断

患者さん	全ての施設毎
------	--------

患者さんの同意取得の詳細

新規の患者さん	同意書による取得
撤回する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
連携先の増加	その他 検討中

サービスについて

疾病	
サービス	退院時サマリ、画像情報の共有、検査機関との連携、医療従事者用モバイル対応、在宅医療連携、介護連携、その他のサービス情報共有
補足・備考	

共有できる情報項目

基本情報	患者基本情報、病名情報
文書	診療情報提供書、医師記録、サマリ、手術記録、看護記録等、文章その他 アレルギー情報
オーダー情報	処方オーダー、注射オーダー、検体検査オーダー、放射線検査オーダー、内視鏡検査オーダー、生理検査オーダー、食事オーダー
検査結果	検体検査結果、生理検査結果、画像
調剤結果	調剤結果
その他	その他 入院オーダー、外宿泊オーダー、転科・転棟オーダー、病理検査レポート、放射線レポート、エコー検査レポート、内視鏡検査サポート※情報共有の項目は利用施設毎によって異なります。

共有情報の取得元

共有情報の取得元	病院電子カルテより、病院レセコンより、医科診療所電子カルテより、医科診療所レセコンより、薬局レセコンより、検査センターより
----------	---

システムについて

連携方式	分散型、クラウド型
情報共有の形態	双方向での共有、参照のみ
患者IDシステム	HumanBridgeシステムを利用、ID-Linkシステムを利用、独自開発のシステムを利用、その他の共通IDシステムを利用、独自システムにて小規模医療機関向け開示システムを整備、共通IDを使用していない
標準化ストレージ	SS-MIX2、PIX/PIXV3/PDQ/PDQV3
情報の保存場所	各医療機関の院内、院外のデータセンター
障害対策	提供ベンダーのサービスを利用、磁気メディア等別媒体への保存
厚労省標準規格の採用	医療におけるデジタル画像と通信、JAHIS臨床検査データ交換規約、臨床検査マスター、JAHIS放射線データ交換規約

通信ネットワーク

医療機関等との通信	医療機関との通信専用線、医療機関との通信IP-VPN、医療機関との通信インターネットVPN
介護施設・その他施設との通信	介護施設の通信インターネットVPN
患者さんとの通信	

ログインセキュリティ

医療機関・薬局用	2要素認証、IDとパスワード、HPKI電子証明書
介護施設・その他施設用	2要素認証、IDとパスワード
患者さん用	

主なIT企業

企業名（1）	両備システムズ
企業名（2）	日本電気（株）
企業名（3）	NTTデータ

サービス利用・参加料金

病院（開示施設）	実施中：有料 補足：41000円～104000円（病床数ごとに月額設定／ID-LINKまたはHumanBridgeの利用料を含めた会費設定）
病院（閲覧施設）	実施中：有料 月額：5000円 補足：1名増えるごとに1500円追加
診療所	実施中：有料 月額：5000円 補足：GWサーバを持つ場合は、41000円（ID-LINKまたはHumanBridgeの利用料を含めた会費設定）
薬局	実施中：有料 月額：5000円 補足：GWサーバを持つ場合は、41000円（ID-LINKまたはHumanBridgeの利用料を含めた会費設定）
介護施設	実施中：有料 補足：GWサーバを持つ場合は、41000円（ID-LINKまたはHumanBridgeの利用料を含めた会費設定）
患者さん	

蓄積された個人情報の利用

地域の医療費適正化の目的で利用	実施なし/予定なし
学術研究等の公益目的で利用	実施なし/予定なし
公益目的以外で利用	実施なし/予定なし


予算について

構築費用概算	1711598（千円）
年間運用費用概算	93520（千円）
保守費概算	
その他年間費用概算	

費用の負担について

実施中システム構築費の負担	自治体の負担
実施中システム運用費の負担	参加施設の負担
実施予定システム構築費の負担	
実施予定システム運用費の負担	

[← 事例一覧へ戻る](#)

[ページの先頭へ戻る](#) 

医療情報連携ネットワークはなぜ必要？

- ＞ 出発点は地域医療を良くしたいという思い
- ＞ 医療情報連携ネットワークの導入効果
- ＞ 利用者の声（導入効果）

医療情報連携ネットワークをどう作る？

- ＞ 医療情報連携ネットワークの構築手順
- ＞ 実施のポイント
- ＞ 利用者の声（苦労した点、成功要因）
- ＞ ガイドライン、書式例など

医療情報連携ネットワークの具体例を見る

医療情報連携ネットワークとは

- ＞ データで見る
- ＞ ピックアップ事例
- ＞ 事例を探す

構築手順

- ＞ 構築手順について
- ＞ Step1：計画
- ＞ Step2：構築
- ＞ Step3：運用
- ＞ Step4：更改

FAQ

- ＞ 用語集
- ＞ お役立ち情報
- ＞ リンク集
- ＞ 資料ダウンロード

